

みなくち 子どもの森 もり



② 約230万年前の水口の様子を復元した実物大模型
野洲川の河原からワニの化石などが見つかる

みなくち子どもの森の入り口には、自然館という建物があります。自然館は甲賀市の自然をテーマにした博物館です。

自然館を入ってすぐ、ワニがお出迎えし、周りには、大木やソウなどもいるようです。これは約230万年前の水口の風景です。水口町の野洲川には約230万年前の琵琶湖でたまった地層があり、そこからソウシカ・ワニの足跡化石やワニの歯の化石、たくさん貝や植物の化石が見つかりました。見つかった化石から復元した当時の様子が、この実物大の模型です。

化石トンネルでは、外国産の三葉虫やアンモナイトの本物の化石



① さわれる展示が人気の「みなくち博士の部屋」

にさわることができ、人気のある場所です。

「四季の森」では、春夏秋冬の森の様子が実物大の模型でつくってあります。春に自然館にお越しただいても、他の季節の生物もご覧いただけるというわけです。細かい昆虫もたくさんいるのですが、夢中になって探しておられる方を時々お見かけします。

「ふるさとの自然」では、年に6回程度展示を換え、季節に合わせた植物や昆虫、化石などを展示しています。一度お越しください。方も、また新しい発見をしていただけたらと思います。

夏と冬には特別展を開催しています。今年度は、夏は花を、冬は



① 中にはいろいろな動物がいるので探してみてください

鮎河層群の化石をテーマにした特別展を準備中です。

2階に上がっていただくと、ブライナタリウムや、さわられる展示がいっぱいの「みなくち博士の部屋」があります。

自然館は、なんといっても子ども達の森のフィールドの中にあることが特徴でしょう。野外で自然を観察して館内で調べたり、館内で知った生き物を実際に野外で探したりと、他の博物館よりもフィールドを生かした利用ができます。そしてそんな目で、ぜひ自宅のまわりなどの身近な自然に目を向けてみてください。意外な発見があるかもしれません。

